

# 新しい企業報告としての 統合報告<IR>の概要

不確実性の高い現代社会において、企業は、社会や環境の持続可能性を維持していきながら、いかに自社の利益を持続的に上げていくかという、非常に大きな経営課題に直面しています。投資者や他のステークホルダー（利害関係者）は、企業がこうした経営課題をいかに解決しながら、長期の価値創造を図っているかに関心をもっています。とはいえ、ほとんどの上場企業が環境報告書やサステナビリティ報告書を公表している中で、ステークホルダーが膨大な資料を読み解いていくには限界があります。

近年、投資者（および他の利害関係者）に対し、組織がどのように長期にわたり価値を創造するかを簡潔に説明するための新しい企業報告のあり方として、統合報告(Integrated Reporting<IR>)が注目を集めています。南アフリカでは、統合報告制度が義務化されており、日本でも 2013 年度に、統合報告の優秀企業として、「伊藤忠商事」、「オムロン」、および「ローソン」が表彰されています。

本セミナーでは、海外のベストプラクティスをいくつか紹介しながら、新しい企業報告としての統合報告<IR>の概要についてわかりやすく解説いたします。

日 時	平成 26 年 11 月 28 日（金） 14 : 00~16 : 00
場 所	明石市立産業交流センター 4F 研修室 1
講 師	神戸学院大学 経営学部 准教授 島永 和幸 氏
定 員	50 名
受講料	無 料
申込先等	一般財団法人明石市産業振興財団

〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7

TEL : (078)936-7917 ※月曜休館

FAX : (078)936-7916

(FAX がない場合は、お電話で受け付けます)

特に参加証の発行等はいたしません。

参加に関して連絡事項がある場合や定員を超えてお断りする場合のみご連絡をいたします。

共 催 神戸学院大学・一般財団法人明石市産業振興財団

◆財団 HP からもお申込みできます⇒ <http://aicc.or.jp>

..... 切り

明石市産業振興財団 行 FAX : (078) 936-7916

## 1 1 . 2 8 神戸学院大学公開セミナー受講申込書

住所 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

Mail : \_\_\_\_\_

事業所名 \_\_\_\_\_